

# 本検討会の進め方（イメージ）について

## 1. 報告書の対象者

国立大学附属病院の経営責任者、医療従事者及び実務担当者を主な対象とし、被災時におけるそれぞれの立場からの課題を踏まえつつ、報告書を取りまとめてはどうか。

- ・ 経営責任者：被災時の医療継続等の方針を踏まえた、施設の防災機能強化に係る整備方針の企画、立案
- ・ 医療従事者：上記医療継続等の方針や防災機能強化を踏まえて、被災時に医療を提供
- ・ 実務担当者：医療継続計画に基づいて準備や整備方針の実行、その後の維持管理

## 2. 報告書の構成・内容

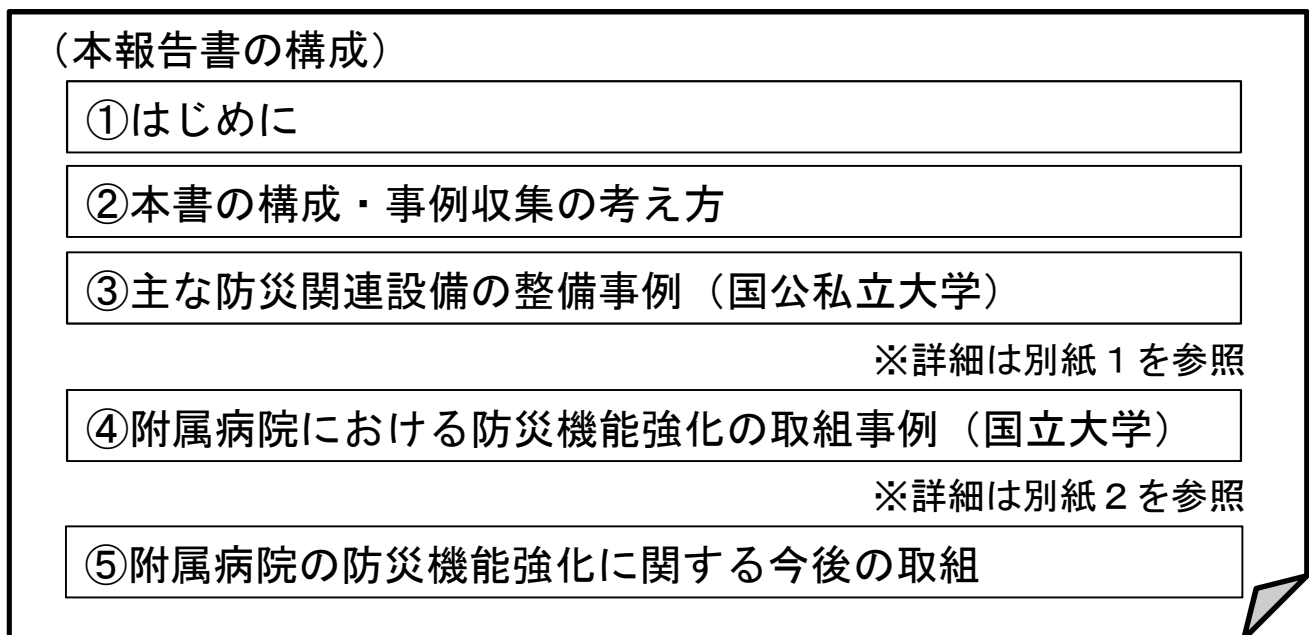
### ● 構成（図 1 を参照）

本報告書は、①はじめに、②本書の構成・事例収集の考え方、③主な防災関連設備の整備事例、④附属病院施設の防災機能強化の取組事例、⑤今後の取組の順で構成してはどうか。

### ● 内容

③については、委託事業として国公立大学附属病院における主な防災関連設備の整備事例を収集・取りまとめることとしてはどうか。

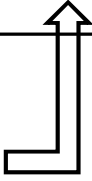
また、事務局において全国の実態把握を進めるとともに、④については、国立大学附属病院の取組事例を収集・取りまとめることとしてはどうか。



(図 1) 報告書の構成イメージ

### 3. 今後のスケジュール

平成28年夏を目途に報告書を取りまとめる予定

	平成27年度				平成28年度		
	8月	9月	11月	1月	4月	6月	夏
本検討会	● 第1回	● 第2回	● 第3回	● 第4回	● 第5回	● 第6回	報告書公表
委託事業					 委託事業の成果物を報告書に反映		

(参考)

#### ●本検討会における審議事項について

- ・ 第1回 : 取組事例の紹介(3法人)について  
本検討会の進め方について 等
- ・ 第2回 : 防災機能強化や防災関連設備整備の考え方について  
(数名の委員よりプレゼンテーション)  
委託事業の内容について 等
- ・ 第3回 : 国立大学附属病院における防災機能強化の事例の収集状況について(5事例程度)  
委託事業の進捗について 等
- ・ 第4回 : 報告書(骨子案)の検討について  
委託事業の進捗について 等
- ・ 第5回 : 報告書(案)の検討について  
委託事業報告書について 等
- ・ 第6回 : 報告書(最終案)の検討 等

#### ●委託事業について

第2回検討会において委託事業の内容を確認した後、事務局にて11月を目途に発注予定

なお、委託先として、医療福祉関連の公益法人やコンサルタント事務所などを想定

### ③主な防災関連設備の整備事例（国公立大学）

#### 1. 対象

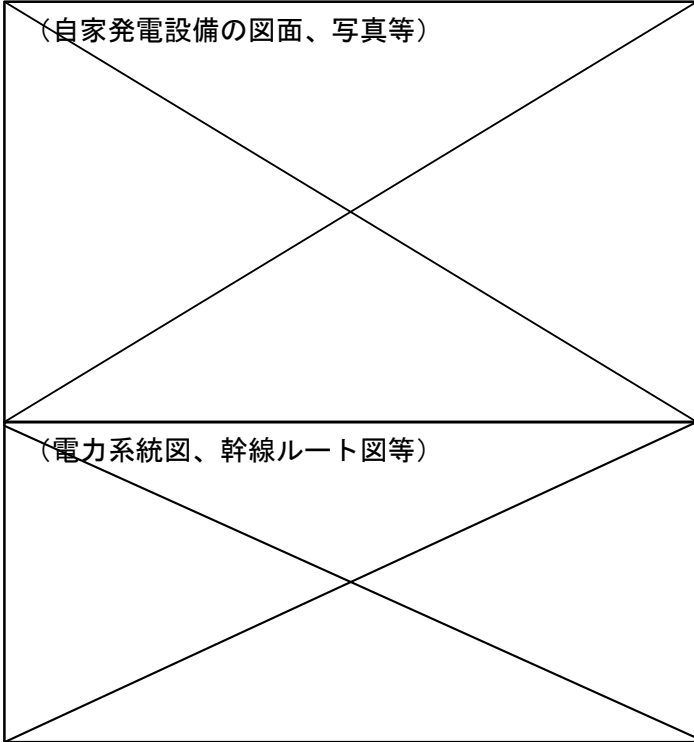
国公立大学附属病院において、防災機能を発揮するために、近年整備された主な防災関連設備の整備事例

#### 2. 主な防災関連設備

自家発電設備、受水槽、通信設備、排水設備、医療ガス、ヘリポート等

#### 3. 記載例（自家発電設備の場合）

##### ◆事例 1

<p>(自家発電設備の図面、写真等)</p>  <p>(電力系統図、幹線ルート図等)</p>	<p>①整備の考え方、整備時期 等 災害時に通常電力需要の●割を確保するため、平成●●年に自家発電設備を整備した なお、燃料の供給については、ガスと重油を併用することによりリスクヘッジを図っている 等</p> <p>②仕様 等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・容量 ●●● kW</li><li>・設置台数 3台 (各●●● kW)</li><li>・燃料：重油とガスの併用方式 (重油タンクには3日分の燃料を確保)</li><li>・供給先：手術室、ICU、トリアージ 等</li><li>・事業費 約●●億円</li><li>・その他 常用、非常用の使い分け 2回線受電化 等</li></ul> <p>③工夫した点 等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・整備に当たって工夫した点</li><li>・整備する際に配慮すべき点</li><li>・整備後、改善、改良した点</li><li>・その他 (省エネルギー効果などがある場合に併記)</li></ul>
--	---

##### (参考) 病院基本情報

###### ①地理的状況、施設情報

所在地、立地状況、医療圏における人口動態、建物配置図、延べ面積、契約電力、 等

###### ②病院基本情報

病床数、外来患者数、手術件数、医療従事者数、災害拠点病院の指定状況 等

##### ◆事例 2

⋮

※防災関連設備ごとに  
3～5事例程度を想定

## ④附属病院における防災機能強化の取組事例(国立大学)

### 1. 対象

国立大学附属病院において、防災機能強化を図るための取組（5事例程度を選定）

選定に当たっては、防災機能強化に関する取組内容だけでなく、病床規模や地域性等も考慮

(選定候補法人) ※整理中

- ①名古屋大学 愛知県名古屋市 1,035床／②信州大学 長野県松本市 707床  
③浜松医科大学 静岡県浜松市 600床／④京都大学 京都府京都市 1,121床  
⑤鳥取大学 鳥取県米子市 697床

### 2. 記載例

#### (1) 基本情報

##### ①地理的状況

所在地、立地状況、医療圏における人口動態 等

##### ②病院基本情報

病床数、外来患者数、手術件数、医療従事者数 等

##### ③施設の一般情報

建物の配置、規模（面積）、建物の耐震性（免震、制震を含む）、設備幹線ルート 等

#### (2) 防災機能強化に向けた主な取組（計画中を含む）

##### ①学内における検討状況（学内の検討体制、検討状況等）

(具体例)

- ・学内に附属病院長をトップとした●●●委員会を設置し、学内や地域の病院とも連携して策定された病院BCP／防災対策マニュアルを踏まえて防災関連設備の整備を実施
- ・病院BCPに基づいて年●回防災訓練を実施し、施設面の課題を抽出の上、改善
- ・近隣の大規模病院との間で、災害時における患者受入れ等の協力体制を構築し、防災機能の再評価を実施
- ・ステッカーによる防火戸や非常用コンセント等の見える化を図ることによって、医療従事者等の防災意識を向上

##### ②防災関連設備の整備内容（整備の考え方、整備内容・時期等）

(具体例)

- ・災害時に通常電力需要の60%を確保するため、平成●●年に自家発電設備を整備
- ・災害時に3日分の水を確保するため、平成●●年に受水槽を整備
- ・災害時に外来待合ホールをトリアージスペースとして活用するため、平成●●年に医療ガスや非常用電源を設置
- ・災害時に患者を広域搬送するため、県の補助金を活用して、平成●●年に病棟屋上階にヘリポート及び搬送動線確保のための非常用EVを整備 等

##### ③今後の課題

## 防災機能強化に関する実態把握(国立大学)

### 1. 対象

全国立大学附属病院について、主な防災関連設備の整備実態等を把握する。

### 2. 様式例 (一部記入例を含む)

附属病院名	●●大学医学部附属病院
調査年月日	●●年●月●●日現在

#### (1) 基本情報

事 項	取組内容等
①地理的状况	所在地、立地状況、医療圏における人口動態 等
②病院基本情報	病床数、外来患者数、手術件数、医療従事者数 等
③施設の一般情報	建物の配置、規模(面積)、建物の耐震性(免震、制震を含む) 等
④災害拠点病院の指定状況	(基幹/地域) 災害拠点病院、2000年指定
⑤病院BCP等の策定状況	
・ 想定される災害	地震、津波 等
・ 病院BCP等の策定状況	病院BCPについては、2020年の策定に向けて学内で検討中。 2000年に防災マニュアルを策定して、年4回防災訓練を実施
⑥地域連携等の取組状況	近隣病院と協定を締結し、被災時には連携して患者を受入れ等
⑦その他防災に関する主な取組	年4回の防災訓練により、被災時に想定される電気量が不足することが判明したため、●●年に自家発電設備を増設

#### (2) 防災関連設備の整備状況

	種類	設置年	主な仕様		災害時の稼働状況	今後の課題
電 気	自家発電設備	2000	設置台数	台	通常最大電力量 ●, ●●●kWの 約●割を確保 ●●時間連続運転 が可能  (耐震性能) 基幹設備 ○ 配線・配管 △ (一部未対応)	特高受変電設備の 2回線化を検討  老朽した自家発電 設備の更新  病院BCPを踏ま え、電気の供給先 について再検討中
			容 量	kW		
			燃 料	重油 リットル		
			設置箇所	病棟地下階		
	供給先					
	そ の 他					
太陽光発電設備	2000	設置台数	台			
		発 電 量	kWh			
		供給先				
その他(UPS)	2000	設置台数	台			
		発 電 量	kWh			
		供給先				

	種類	設置年	主な仕様		災害時の稼働状況	今後の課題
水	受水槽 (飲料水・上水)	2000	設置台数	台	上水 ●日分確保 雑用水 ●日分確保 排水 ●日分貯蔵可能  (耐震性能) 基幹設備 ○ 配線・配管 ○	地下水の水質調査結果を踏まえ、井水を確保する予定
			容量	t		
			供給先			
	受水槽 (雑用水)	2000	設置台数	台		
容量			t			
供給先						
排水設備 (地下タンク)	2000	設置数	箇所			
		容量	t			
その他 ( )						
医療ガス	屋外タンク	2000	液化酸素	t	酸素 ●日分 空気 ●日分 笑気ガス ●日分 炭酸ガス ●日分  (耐震性能) 基幹設備 ○ 配線・配管 ○	
			液化窒素	t		
			その他	t		
	供給先					
その他 ( )						
その他	ヘリポート (平時の搬送)	2000	設置箇所	病棟屋上階	被災時の大量搬送用大型ヘリは近隣グラウンドに着陸	
			耐荷重	t		
			その他			
	非常用EV	2000	設置台数	台	被災時は外来待合ホールをトリアージスペースに転用	
			耐震性能	S14		
その他 ( )	2000					